科目ナンバリング	U-LAS40 10004 LJ26

授業科目名 <英訳>	健康科学II Health Science II	担当者所属 職名・氏名	医学研究科　教授　木下　彩栄 医学研究科　教授　任　和子 医学研究科　教授　奥野　恭史 医学研究科　准教授　竹之内　沙弥香 医学研究科　准教授　井沢　知子 医学研究科　准教授　塩見　美抄 医学研究科　准教授　山下　正 医学研究科　特定准教授　内野　詠一郎 医学研究科　特定准教授　峰晴　陽平 医学研究科　助教　櫻木　実

群	健康・スポーツ科目群	分野(分類)	健康・スポーツ科学(基礎)	使用言語	日本語

旧群	D群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）

開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

ヒトの健康をどのように捉えるかを考える。また、からだの健康を支える医療についてその歴史、現状、未来を知る。そして、のぞましい健康を創り出すためにどうしたら良いのかを各自が考えるために、その基盤となる健康科学を習得することを目的とする。そのために、本講義では、さまざまな医療専門職より多角的な視点から講義を行う。

[到達目標]

超高齢社会を迎える本邦では、医療にかかわる様々な問題が生じてきている。本講義を通して、医療の現場について理解し体系化することで健康について理解する。また、医療を支える制度や各職種の役割、最先端の技術、倫理的課題を知ることにより、我が国における医療体制の在り方につき考える。

[授業計画と内容]

第１回 10/2 「オリエンテーション・医療経済と支援」 (4-5) 【木下】
第２回 10/9 「健康の決定因子とヘルスプロモーション」 (2-2) 【塩見】
第３回 10/16 「近代医学の誕生と感染症対策」 （3-1） 【山下】
第４回 10/23 「科学的根拠とこれからの医療」 （3-10） 【内野】
第５回 10/30 「 患者の権利を尊重する（ターミナルケア）」 （4-8） 【井沢】
第６回 11/6 「非感染性疾患の増加――生活習慣病の予防に求められる姿勢」 （3-2） 【峰晴】
第７回 11/13 「 こころの病とwell-being 」 （2-4） 【塩見】
第８回 11/27 「医療・情報テクノロジーに伴う課題」 (3-4) 【奥野】
第９回 12/4 「ゲノム医学の登場からゲノム編集へ」 （3-3） 【奥野】
第１０回 12/11 「医療職のプロフェッショナリズム」 （1-8） 【任】
第１１回 12/18 「地域包括ケアシステムと多職種連携」 （4-3） 【木下】
第１２回 12/25 「医療保険制度と介護保険制度」 （4-4） 【木下】
第１３回 1/8 「医療現場の倫理」 （1-3） 【竹之内】
第１４回 1/22 「医療安全と医療職に求められる態度」 （4-8） 【任】
第１５回 1/29 フィードバック 【木下】

※（ ）内は教科書の項目番号
11月祭の日程次第での変更がありますので、注意して下さい。

健康科学II(2)へ続く↓↓↓

健康科学II(2)

[履修要件]

全学部学生対象、特に理系科目の知識は必要ない

[成績評価の方法・観点]

レポートならびに平常点（出席と参加の状況）
・出席回数（４回以上欠席は不合格）
必ず出席時はカードリーダーで出席登録すること
・レポート（４回以上未提出は不合格）
詳細は講義にて説明する

[教科書]

千代 豪昭、黒田 研二 『学生のための医療概論（第4版）』（医学書院）ISBN:9784260015400

[授業外学修（予習・復習）等]

授業に関連するテキストの項目についての予復習を推奨する。あらかじめ、講義内容について目を通し、理解しておくこと。
また、授業の内容は、現代の社会のさまざまな医療問題に直結する問題であるため、授業中に別途指示した課題等において、新聞記事やニュース、文献などからレポートを指示する場合もある。

[その他（オフィスアワー等）]

教員への連絡はメールでお願いします。医療にまつわる知識は、今後、どの分野でも重要になってくるため、文理問わず、幅広い領域の学生に向けて講義します。

[主要授業科目（学部・学科名）]